藤和千里ハイタウン管理組合 第32期理事会 理事長 第32期理事会 防災担当理事 防災委員会 委員長

防災住民説明会開催のお知らせ

拝啓 当マンションに居住される皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。 この度、全居住者様を対象としました、「防災説明会」を下記のとおり開催する事となりましたので、 是非ともご出席くださいますようお願い申し上げます。

この4月には多くの犠牲者と避難者を出した熊本地震が発生したばかりです。犠牲になられた方々には謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

まさに災害は何時、どこで、発生してもおかしくない状況となっております。今回は防災面を強化充実させていくために、当マンションに居住する全ての住民の方を対象とする初めての「説明会」となっております。この機会に是非ご出席いただいて、ご意見やご質問、又ご要望などをお聞かせくださいますよう、お願いいたします。尚、後半は防災に関するミニ講習会となっておりますので、併せてご出席いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

日 時: ①平成28年7月9日(土) 午後7時00分~

②平成28年7月10日(日) 午前10時00分~

※上記のように2回開催いたしますので、ご都合のよい日時にお越しください。

場所: 当マンション3階集会室

内 容: 1. 第31期防災委員会活動報告 **資料①** 平成27年7月~平成28年5月末までの活動報告(1~2ページ)

- 2. 防災委員会防災計画(3~5ページ) 資料②
- 3. 防災委員会細則案(6~8ページ) 資料3
- 4. 第32期防災委員会活動計画及び事業計画(案)(9ページ) 資料④ 平成28年6月~平成29年5月までの防災活動及び事業計画
- 5. 防災委員会災害時活動マニュアル・組織編成及び役員(10~13ページ)
- 6. 質疑応答 (約15~20分程度)
- 7. 防災講習会 (約20~30分程度)
 - •クロスロードゲーム 〈別紙〉
 - ・千里地区断層帯の状況
 - ・てんぷら油火災、煙火災被害ビデオ視聴

١
•
•
۶
ŀ
U
٠
ŀ
j
_
b
5
ì
÷
1
1
1
1
1
1
1
H/144/
HILL

(回域的性成について (回域的性成について (回域の対域が関係的対域が関係が成立して (回域の対域が関係的対域が関係の対域を関係の対域を対域でのいて (回域の対域を対域を対域の対域を対域を対域の対域を対域を対域の対域を対域を対域の対域を対域を対域の対域を対域を対域の対域を対域を対域の対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対	第4回定例防災委員会 ① 学有語・共用部の割 ① 学有語・共用部の割 ① 全有語・大用部の割 ② 直接対学の作 ・ 他ペンションの自 主 ・ 阿倍野野災センター ② 反接列的災債業等等	第5回定例防災泰昌会	①専有部・共用部の消火・制防・ ・全航確認場回についての検告 ・登山・研究公交とできょう~(10) ・居山・者名傅の投版・等 ・原田・者名傅の投版・等 ・原田・者名傅の投版・等 ・原田・名の中に指アンケートの ・原田・教育・の中 ・同居野的以センター、視察見学 の規約自20番目について、
(回規約件成について (の形別計画作成について (の形別に関切及表員会 (の形別に関切及表員会 (の形別に関切及表員会 (の形別に関切及表員会 (の形別を設定を定りませて (の教員の形理を対していて (の所別を設定を定りませる。 (の形別を対しても、の所別を対していて (の所別を対しても、で (の下級を対しても、で (の工レベーター・大田高線の報告 (のエレベーター・大田高線の報告 (の工レベーター・大田高線の報告 (の下級を対していて、 (の各域を対象について、 (の名域を対象について、 (の名域を対象について、 (の名域と対象について、)	m- 	子宮部・児田部の選及・割防・選難設備等施認の作品調査機関についての報告 提及と当の作 提及との作品の観点の表現の 同時代のでは、 別情報的技术シャー視像児常について 別情報的技术サンター視像児常について 人間情報的技术サンター視像児常について	①中有部・共用部の形と・南切・道職政権等権認の作 ・企業権務巡回についての報告 ②維統と学の作 ・他センションの日主形が組織の機断原発について 国用部野特及センター 和無見がについて 3 人取用的形以表表を の場所と「アンマー 日本日が経過で機断原発について 3 人取用的形以をした。 の場合の道別を旧について の場合 ・単位者が以上のが、(1018) 参加報告 ・単位権務が関ロしての状で ・単位者を有物の投放、等 2度支援者等の用語のアンケートの年 を規模及等の手部アンケートの年 2度支援者等の手部アンケートの年 2度支援者を対した。 2018年 20
55 SS 259 E9 E1		15H 15H 18H 19•20H 23•24U	15 H 18 H 19 - 20 H 23 - 24 H 20 E 29 H
「農中市危機管理室・防火セミナー」開催(3店集会室) ・マンションが原火をと書え、 ・マンションが原火をと書え、 ・マンションが原火をと書え、 ・マンションが原火をと書え、 ・アンションが原火をと書え、 ・東東西・東京・シンコンの大参は「海東東京・シン宝」 ・連城の東計画とマンションの大参知計画について、 ・東東の東大計画とマンションの大参知計画について、 ・東東の東大計画とマンションの大参知計画について、 ・東東の東大計画とマンションの大参知計画について、 ・東東西・東加・東加・東加・東加・東加・東加・東加・東加・東加・東加・東加・東大・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・西・		大阪帝主催「野災休養"で置会」参加(大阪府中) - 直導打動体験 - 大阪衛士衛「野災休養"で置会」参加(大阪府中) - 大阪衛士衛「野災センター」 見学・クロスロードゲーム参加・非常食飲食 - おび返信が413番で (日本レイ・ター間によめが出土団権・衛生等 - センションの発育が発出団権・衛生等 - キリカンの大安から・展出党者・日本の大田の大田の海外の一般、中国社会の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の大田の	大阪将士福(野災体験だ 通報者)動体験 通報者(動体験) 連載者(動体験) 大阪報行時(財災心験) 財政化が15年間で200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円に対して200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時間が200円時期が200円時間が

	55%	防災機員会確認内容		防災委員会実行内容,并外括劃	4.外括劃
(プジギーフボール)	IЯ	LB 13 B	回定例防災委員会	10日	思中市消防局「出初式」参加(大門公園)
		-	2H.		「防災とボランティア週間」(国交省・気象庁) 講習会参加(大手前国民会館)
(金藤玉)			・助災委員会の半年間の済動報告及び今後の活動予定		
			3)防災アンケート(要支掠者・原住者名籍等)の存		領火・領別改編20後重: 共川沿幅] 崇早中間別田初央参加] 敦竹寺
			FLF07.		
			□ 本房屋水資料研究(Signatural) (A) 表情教育中国 (A) 本房屋水資料研究(Signatural) (A) 表情教育中国 (A) 表情教育中国 (A) 表情教育中国 (A) 表情教育中国 (A) 表情教育中国 (A) 表情教育中国 (A) 表情教育的 (A) 和 (
			被告(
			3. 票中市消防局出初式参加報告(1/10)		
			87の含の態粉サ頃 (17の含の態粉サ頃)		
			・防炎蜘練について(4月実施予定)		
	2月	2月13日		7 ⊞	防炎委員会第1回臨時班長部会
其会室)			・2/7個型国际企業維集に基人会計画機	7 H	・必及養養者、葡萄品等の液對及び決定 7日
			②防災訓練について(4月実施予定)		- 豊中市広域防災避難地(緑地公園)までの徒歩検証
			-4/9実施計門案概略	20 FI	防災通信Vol.7発行
			30円以アンケードごとって、「日午 サる 線 (村)	94 E	宣指野院災力ンター体験装む] 単常の株可体験の回路がある。
			・財政選州を強(教)	1 E E	· 2000年8月年6日7日7日 - 2000年8月年6日7日 - 2000年8月年6日7日 - 2000年8月年6日7日 - 2000年8月年6日7日 - 2000年8月年6日7日 - 2000年8月 - 2
			·意談調查(紫)及び管理規約(紫)		DAY A SHE TOPE I SET DEFENDA
			3) 果鹅 华 原		
			2. 計樂計画購(%)		
			5場告事項		
			·農中市広城防災避難地(緑地公園) 後歩檢話調查報告		
	3Л	3月12日:	第9同定例防災委員会	3 H	エレベーター設備操作訓練(東芝EV)
			①2/20理事会報告(舟橋委員長より)		50.災殻権業作罰業(中川工務庁)
			・野災計画場(教)	1311	・「西木針にもいた」(大阪や七角の料器的響子指々)
			• 備蓄物資、機材等		形へ極減と備え
					全戸対象防災范儀アンケー下共順 1957年 - Grand
A 参加·并书法以及			-	JU 11	50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50
			·居住者名錄、更接護者名錄、意識調查等		「三菱地所主権防災セミナー参加報告」等
5女共同参画センター)			②介压住者説明会の件②被告事項事項		
うの関係~			・ コア ハーター 製活 製合 型 装装 中		
			・ ・ で く な な な な な な な な な な な な		
			のこの間の観光を改		
	4.Н	4 Н 16 П	第10回定例以炎委員会	2 🗆	
			1)55次型貨幣町	0	・31男理事会、32男理事、防災委員会、計33名参加(景中警察警備課) ※<注意書館事業
トレッジキャピタル)			2)防災市民群座受講報告		(喪中市消防局所千里出班界、景中市危機管理課、農中等察警備課、MJC協力)
			・3/13豊中市生活情報センター(舟橋委員長より)		主管:第31期理事会、第32期理事会、防災委員会 参加:101名
			※要数数をファートではない。 ・連載数数をファートでは		· 光氏超裝· 東指蒙峰 - 牧的霍昂曼集 - 追入望落
			④住民説明会開催について		· 非常食就食会
			・資資格対象の説明会開発 の操用事項	25.	・AED劇像 EGGGGGCOA
			・ 連携はしばの耳点後と柴間住口に対する際力疾逝	D C	
			・消防送水管点検報告 のその他の懸案事項		
	H G	5 H 14 F	第11回定例以及委員会	7 ⊞	臨時別:災委員会
9	0/1	0.0	D防災説明会(金居住者対象)について		·第31期通常総会用資料理事会基務調整
			- 説明会内容等檢討	23 ⊞	防炎通信Vol.10発行
			②防災教式会32要量炎計画にしていいます語言を表す。	2011	「以販防災拠点(線地公園)従尿機証製作」「防災セーフティロード」幹解の問題を終金に大明常開始を終金に大明の開始を管理した表現
			30// 災アンケート(要接護者名簿等)の作		
			・支施時期・内容等詳細検別		
			の後の年の語像書品		

1 目的

この計画は、藤和千里ハイタウン防災委員会の防災活動に必要な事項を定め、もって、地震その他の災害による人的、物的被害の発生及びその拡大を防止することを目的とする。

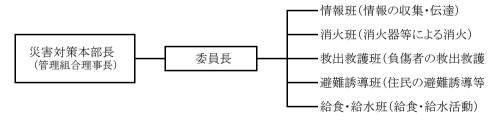
2 計画事項

この計画に定める事項は、つぎのとおりとする。

- (1)防災組織の編成及び任務分担に関すること。
- (2)防災知識の普及に関すること。
- (3)災害危険の把握に関すること。
- (4) 防災訓練の実施に関すること。
- (5)情報の収集、伝達に関すること。
- (6) 出火防止、初期消火に関すること。
- (7) 救出救護に関すること。
- (8)避難誘導に関すること。
- (9)給食、給水に関すること。
- (10)災害時要援護者に関すること。
- (11)他組織との連携に関すること。
- (12)防災資機材等の備蓄及び管理に関すること。

3 防災組織の編成及び任務分担

災害発生時の応急活動を迅速かつ効果的に行うため、つぎのとおり防災組織を編成する。



4 防災知識の普及

住民の防災意識を高揚するため、次により防災知識の普及を行う。

(1)普及事項は、次のとおりとする。

ア防災組織及び防災計画に関すること。

イ地震、火災等についての知識に関すること。

- ウ各家庭における防災上の留意事項に関すること。
- エ 地震発災後72時間における活動の重要性に関すること。
- オ 食糧等を3日分確保することの重要性に関すること。

(2)普及方法は、次のとおりとする。

ア 回覧板、パンフレット等の配布及び掲示板への掲示

イ 講習会、セミナー等の開催

5 防災訓練

大規模地震等による災害発生に備えて、情報の収集・伝達、消火、避難等が迅速かつ的確に行 えるようにするため、次により訓練を実施する。

- (1)訓練の種別は、個別訓練及び総合訓練、体験イベント型訓練とする。
- (2)個別訓練の種類は、次のとおりとする。
 - ア 情報の収集・伝達訓練
 - イ消火訓練
 - ウ救出・救護訓練
 - 工 避難訓練
 - 才 給食・給水訓練
 - カ災害対策本部立ち上げ運用訓練
- (3)総合訓練は、2以上の個別訓練について総合的に行うものとする。
- (4)体験イベント型訓練としては、防災を意識せずに災害対応能力を高めるために行うもの。
- (5)訓練の実施に際しては、その目的、実施要領等を明らかにした訓練実施計画を作成する。
- (6)訓練の時期及び回数は、次のとおりとする。

ア 訓練は、原則として春季及び秋季の火災予防運動期間中又は防災の日に実施する。 イ 訓練は、総合訓練にあっては年1回、個別訓練にあっては随時実施する。

6 情報の収集・伝達

被災状況を正確かつ迅速に把握し、適切な応急措置をとるため情報の収集伝達を次により行う。

- (1)情報班は、敷地内の災害情報、防災関係機関、報道機関等の提供する情報を収集するとともに、 必要と認める情報を住民、防災関係機関等に伝達する。
- (2)情報の収集伝達は、テレビ、ラジオ、インターネット、電話、トランシーバー、伝令等による。

7 出火防止及び初期消火

(1)出火防止

大規模地震等において、火災の発生が被害を大きくするおもな原因となっているので、出火防止 の徹底を図るため各家庭において主として、次の事項に重点をおいて点検準備する。

ア暖房用、調理用等の火気使用設備器具の設備及びその周辺を整理整頓する。

イその他建物等の危険箇所の状況

(2)初期消火対策

敷地内に火災が発生した場合、迅速に消火活動を行い、初期に消火することができるようにする ため、消火器、三角バケツ、水バケツ等を各家庭に配備する。

8 救出救護活動

建物の倒壊、落下物等により救出、救護を要する者が生じたときは、ただちに救出救護班は活動を行う。この場合、現場付近の者は救出救護班の活動に積極的に協力する。

なお、救出救護班は、負傷者が医師の手当てを要するものと認めたときは、医療機関または防災機関の設置する応急救護所に搬送する。

また、救出・救護班員は、防災関係機関による救出を必要とすると認めたときは、防災関係機関の 出動を要請する。

9 避難対策

大規模災害の発生が予測されるとき、又は火災の延焼拡大等により、住民の人命に危険が生じ、 又は生じるおそれがあるときは、次により避難を行う。

(1)避難誘導等の指示

避難命令が出たとき、又は、管理組合理事長(災害対策本部長)の指揮命令を代行する防災委員長が必要があると認めたときは、避難誘導班に対し避難誘導の指示を行う。

(2)避難誘導

避難誘導班は、大規模地震及び津波、台風等による被害の発生が予測されるとき、管理組合理 事長(災害対策本部長)もしくは、その指揮命令を代行する防災委員長の指示に基づき、住民を 安全な避難地に誘導する。

10 給食・給水

避難地等における給食および給水は、次により行う。

- (1)給食給水班は、市から配布された食料及び管理組合が備蓄した食料等を配布し、又は炊き出し等を行う。
- (2)給食給水班は、市から提供された飲料水、又は備蓄した飲料水により給水活動を行う。

11 災害時要援護者対策

(1)災害時要援護者台帳・マップ等の作成

災害時に避難状況を把握するため、災害時要援護者台帳・マップ等を作成し、行政、民生・児童 委員、訪問介護員、ボランティア、自治会等と連絡を取り合って定期的に更新する。

(2)災害時要援護者の避難誘導、救出・救護方法等の検討 災害時要援護者に対する円滑な避難誘導や効果的な救出・救護活動等について予め検討し、 訓練等に反映させる。

12 他組織との連携

防災訓練や災害時の応急活動については、他の自主防災組織や災害ボランティア団体等との 連携を図るものとする。

13 防災資機材等

- (1)防災資機材等は、別途に定める配備計画により行う。
- (2)毎年、総合防災訓練目前日を全資機材の点検日とする。

以上

(名称)

第1条 本会は「藤和千里ハイタウン防災委員会」(以下「本会」という。)と称する。

(事務所の所在地)

第2条 本会の拠点は、藤和千里ハイタウン・管理事務所に置く。

(目的)

第3条 本会は、管理組合より管理規約第6章第2節第30条に基づき、防災に関する業務を委託されたものとし、住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動を行うことにより、地震、その他災害による被害の防止及び軽減を図ることを目的とする。

(事業)

- 第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 防災に関する知識の普及に関すること。
- (2) 地震等に対する災害予防に関すること。
- (3) 地震等の発生時における情報の収集伝達、初期消火、救出・救助・救護、避難誘導、生活対策、衛生対策、要援護者対策、災害ボランティア等応急対策に関すること。
- (4) 防災訓練の実施に関すること。
- (5) その他本会の目的を達成するために必要な事項。

(会員)

第5条 本会は、藤和千里ハイタウンに居住する全世帯をもって構成する。

(役員)

第6条 役員は、会員から選任し、藤和千里ハイタウン管理組合(理事会)が委任する。

尚、本会には次の役員及び班員を置く。

委員長 1名

副委員長 1名

監事 1名

会計 1名

事務局 若干名

班長 若干名(情報班長、消火班長、救出救護班長、避難誘導班長、給食給水班長)

- 2 委員長は、理事会防災担当理事を充てる。
- 3 役員の任期は、1年とする。但し、再任することができる。

(役員の任務)

第7条

- 1 委員長は、本会を代表し、会務を総括し、地震・其の他災害等の発生時における活動時に は管理組合理事長(災害対策本部長)の指揮命令を代行できるものとする。
- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 事務局は、委員長を補佐し、本会の運営・事業計画の統括、議事進行等を行う。
- 4 会計は、本会の会計業務を統括する。
- 5 監事は、本会の事業並びに会計を監査し、事業・会計内容について監査する。

(顧問等)

第8条 本会は、事業の実施に当たり専門的なアドバイスを受ける為、顧問または、専門員を 置くことができる。

(班の設置)

- 第9条 本会は、第4条の事項を遂行するために以下の班を置く。
 - (1) 総務(災害対策本部員)
 - (2) 情報班(災害情報の収集・伝達等)
 - (3) 消火班(初期消火活動)
 - (4) 救出救護班(負傷者の救出、応急手当等)
 - (5) 避難誘導班(避難誘導、要援護者の支援等)
 - (6) 給食給水班(物資の調達、炊き出し等)
 - 2 班員は、会員の中から選任し、藤和千里ハイタウン管理組合(理事会)が委任する。

(総会)

- 第10条 総会は、全会員をもって構成する。但し、区分所有者以外の会員に対しては総会前 に事前承認機会を設ける。
 - 2 総会は、毎年1回開催し、藤和千里ハイタウン管理組合の通常総会と同時に開催する。
 - 3 総会は、委員長が招集する。
 - 4 総会は、次の事項を審議する。
 - (1) 細則(規約)の改正に関すること。
 - (2) 防災計画の作成及び改正に関すること。
 - (3) 事業計画に関すること。
 - (4) 其の他、総会が特に必要と認めたこと。

(会議)

- 第11条 本会は、次の会議を開催することが出来る。
 - 1. 役員会は、第6条第一項の定める者によって構成する。
 - 2 幹事会は、各班の班長が、班員を招集し各班の事業細部の検討を行う。

(防災計画)

- 第12条 本会は、第4条に定める事業の実施をするための防災計画を作成する。
 - (1) 災害発生時における防災組織の編成及び任務分担に関すること。
 - (2) 防災知識の普及・啓蒙に関すること。
 - (3) 防災訓練の実施に関すること。
 - (4) 災害発生時における情報の収集伝達、出火防止、初期消火、救出救護、避難誘導及び 給食給水等に関すること。
 - (5) 其の他必要な事項。

(事業経費等)

第13条 本会の運営に要する事業経費は管理組合が負担し、且つその他独自の収入をもって充てる。但し、運営・事業経費等は、事前に事業計画書等を「藤和千里ハイタウン管理組合」に提出し承認を得なければならない。

(会計期間)

第14条 会計期間は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。

(会計監査)

- 第15条 会計監査は、毎年1回監査役が行う。ただし、必要がある場合は、臨時にこれを行う ことができる。
 - 2 監査は、会計監査の結果を総会に報告しなければならない。

附則

1. この規約は、平成28年 月 日から施行する。

-	@		6									6						ш у	되는	_		潜	今	2		6	3		- 1	3				- 6					@J6		Jo	10		(H1		2	6	o ÷) (E	9
	多下信数		日本の街									⑥指食箔木斯								3.妊难病得处	y series and series			()		9年3月1日入野	20 to 14 10 to 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15		A HA PASSAT	の前装品					一覧報告			種別	の の 形 炎 質 女 ・ 信 は ・ に に に に に に に に に に に に に	のの表としました	3)全住民親男会	5)防災委員会綱!	の現場できナー	3000次当体	神工工作学学の日本		198世に3次元	刊代編輯・・ 満れの記述を	収成されて知知	毎年ロコ 下の描
予算		災害保険	バール、金ノコ、針金、ローブ	緊急時階投避難車、EV川緊急装備BOX I FD蒸道株 プロジェクター	NATE AND IN COLUMN TO THE REAL PROPERTY OF THE	10年年	(A) - 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2	場合 ゴーケンーマ 他 ガトループ		御女光彩 第二 3.7	⑤電源コードリール	③水運搬川タンク	②カセットコンロ(ボンベ)	⑥ストーブ	⑤ 発電機用携行燃料	①発出機(コードリール込)	◎簡易1人7★	②保存用飲料水*	①非位合→	ジホイッ人/	①ハンドマイク ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		②懐中電灯	②ヘルメット 	①教忌用品		①消火器	<u>0</u> 752	①携帯電話充電器 ②ここ。	③デジカメ	②ホワイトボード	①トランシーバー		②安在ステッカー(財災マニュアルの一環)	③ 中百 資 ・ 日本 日本 (田本 東 大 を 権) 作 は	②緊急放送設備調查準備費	①備苔倉庫整備費	項用	1.(枚及別省名称:名用省名称:河東電马)1.1.(枚及別省格明の開催	用点排水 人格 开汽水人	(区分所有者外含む)	⑤防災委員会細則					中学語(14次年15月1年から成成の4月の子布成、安全学、1897年では17月1日 日本学語(14次年17月1日 17月1日 17月1日 17月1日 17月1日 17月1日 17月1日 17月1日 17日 17日 17日 17日 17日 17日 17日 17日 17日 1	② 有心理禁:"谢斯蜀族是古恩斯多奇(252、所多区)2777777年25年五条在心体影响。② 有心理禁:"谢斯蜀族是古恩斯之中有2070年,他看 零零字 独自己的 法免债法法裁理	① 東英3女目の遺伝・・・ 当審5点の宣の750数に25元77後に30分割を15元77後に30分割を15元11分割を15元7分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元111分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割を15元11分割と15元11分割と15元11分割と15元11分割と15元11分割を15元11分割と15元11分割と15元11分割と15元11分割と15元11分割と15元11分割と15元11分割と15元	サー・元潔をゆを買りたり無母さ/!:1**
						50/8	- NOS	14火	4001	2台	2巻	20旅	3습	2台	12年	타	25セット(5個人)	500ml • 220 &:	990 🕁	5/19	25		55 라	5個	24%		0台	[]	34	1남		64	50枚	3種各221(+ 介備)	1 E	12	1.47	実施導入数(予定)	順次導入	32至11元叉 7元 信任無准	32期日	32期十完成	年1回開催	「1回開催	31 西黎心理	実施(予定)	タ、 電ット コンニ	レムノレムノ 社の気団サー箱 ピスノレム		5 ▷
2,000				+		+	-	_	+	-		-		-			+	+		+	-			_	_			+	-		-			-	2,000	+		6月	-	+	_			_	+	_	一直化头肌	多年と対	+	
2,000 2	L		_	\downarrow		+	+	+	+	+	L	-		-	-		+	+		+	-				=			+	-		+			-	2,000	\dagger	_	7月	+	+	-			+	+	_	17%	記る	kis.	
21,500	_		-	+		+	+	+	+	+	L	H		-	-	-	+	+	+	+	-			12,000	7,000			+	-		+			-	2,000	+	-	8月	+	+	-			+	+	_	の日来日			
2,000 165,000	_		+	+		+	+	+	+	+	-	-		-	-	-	72	25 05	£	+	-			+				+	-		+			+	2,000	Ť	-	9月 1	+	-	-			+		~	31111	74 × 74 P		
				+		+	+		+			-		-			75,000	000	66 000	+	-				+			+	-		+			-	2,000 2	†		10Я 11	+	+					-			♦ □		
2,000 119,500			+	+		+	+	+	+	+	H		-		-		+	+		+	-			+	+			+	+		+		25,000	92,	2,000 2,	†	-	11月 12月	+	+	-			+	$\frac{1}{1}$	32期	77//	11,7		
500 2,000																																	00	00	2,000 2,000	1		月 1月							+	-				
00 2,000			+	+		+	+	+	+	+	\vdash				-	+	+	+	+	+	-			+				+	+		+			+	2,000	†	_	2月	+	+	-			+	+					
00 144,500	_			+		+	+	+	t	\dagger	l	H		1			+	+		T,000	30,000		7,500	15.00	+			+	-		14,000	75.00		1	2,000			3Д	+	+	-			+	\dagger					
0 32,000			+																		, 0		0												0 2,000	T		4月					10,000	20,000						
2,000				T		1	1	T	T	T							1	\dagger	1	T					T			†			1				2,000	,		5Д		+										
				-									100			000	000 000 000 000 000 000 000 000 000 00		000									000										第33期								第33期	14.	_		
Y496,500		and l	以降順次計画導入検討				(代) の代の代子修画 へ合土				発電機などを使用する際に必要	密閉性の高い特ち運びに使利なもの	炊き出しなどで使用	灯油やコークスなどで組気の必要ないもの	発電機などを使用する際に必要	停電時の電源確保用	使用制限などで使用不可の場合に利用	一番 一	神道関心田と「アローコングストックキレキス	- 6年川	避無誘導、連絡事項の呼びかけ		停電時や仮間の誘導等		3		現状各階設置品を使用	日籍が可服的存むだめて	手国门式	児状確認、被害状況の記録。	- 過音:	兼明氏権治療治されい部への通信用の	管理組合や防災委員の役員の日印	災害時の安否確認をスムーズにするため、全口配布	父母賞・母信賞・又房具演号 年1回用事	<u> </u>	設置場所により費用が未確定	備考	于6月63条 計画 11年8	(中)	○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	全户配布予定	全居住者 対象	全居住者対象	MANUTE N	育さ ネッマ	######################################	黒子		

災害対策本部体制

災害対策本部

- •全体統括
- •各班活動の指示
- ・被害、避難状況の把握
- ・他機関との連絡調整

本部長

理事長 (000号) 090-0000-0000

副本部長(防災委員長)

防災担当理事(000号) 090-0000-0000

情報班

- •情報収集
- •情報伝達、広報
- •安否確認

班長

0000 (000号)

090-0000-0000

0000 (000号)

090-0000-0000

監事 事

0000 (000号) 090-0000-0000

事務局

0000 (000号) 090-0000-0000

消火班

- •初期消火
- •防火防犯活動

班長

000 (0000号)

090-0000-0000

0000 (0000号)

090-0000-0000

00(000号)

090-0000-0000

0000 (0000号)

090-0000-0000

救出救護班

• 負傷者の救出救護 •応急手当、搬送

班長

000 (000号)

090-0000-0000

0000 (000号)

090-0000-0000

0000 (000号)

090-0000-0000

0000(000号)

090-0000-0000

避難誘導班

- ・住民の避難誘導
- 要援護者の支援誘導

班長

0000 (000号)

090-0000-0000

000 (000号) 090-0000-0000

0000

(000号) 090-0000-0000

0000

(000号) 090-0000-0000

給食給水班

- ・備蓄物資の配給
- ・炊き出し等
- ・トイレ、ゴミ管理

班長

0000 (0000号)

090-0000-0000

00000 (000号)

090-0000-0000

00000 (000号)

090-0000-0000

0000(000号) 090-0000-0000

0000

(0000号) 090-0000-0000

発災時ご協力いただける住戸の方々 (2016年7月10日現在51戸)

地震発生後の活動の流れ

震度5以上の 地震発生

各住戸では

- ●自身と家族の安全確保 ●火元の確認 ●出口の確保 ●安否ステッカーの貼付け
- ●隣近所への声がけ ➡ 一時避難場所(エントランス前広場)に集合



対策本部の設置

- ●役員、防災委員は1階エントランスホール集合
- ●1階エントランスホールに対策本部設置
- ●対策本部長・副本部長選任(基本:理事長・防災担当理事)
- ●情報班・消火班・救出救護班・避難誘導班・給食給水班の設置、行動指示
- ●居住者名簿(要援護者名簿)の提供
- ●行政・関係機関からの情報収集(ライフライン情報)
- ●備蓄品等の配布方法

住民には●

- ●エレベーターの使用禁止案内
- ●排水制限、電気・ガス・水道の元栓を閉めることの案内
- ●ゴミ保管方法の案内
- ●炊出し案内

情報班の活動

- ●居住者の安否確認
- ●要援護者の安否確認
- ●建物被害・危険個所などの被害状況確認

消火班の活動

●初期消火

救出救護班・避難誘導班の活動

- ●エレベーターの閉じ込め確認
- ●室内に閉じ込められた居住者の救出、負傷者の救護
- ●要援護者の避難救援

給食給水班の活動

●簡易トイレの準備 ●備蓄物資・炊出しの準備



対策本部の体制の充実

- ●情報班・・・・・・・・・ 居住者の情報把握等
- ●救出救護班 ・・・・・・・ 救護活動 等
- ●避難誘導·消火班·· 防犯活動 等
- ●給食給水班・・・・・・・ 備蓄品の管理・配布 等 -

各班の体制強化



4日目以降・・・・・・本部体制の縮小・各班の活動継続

地震発生直後~1日目

2~3日目

震災時の防災活動 -1日目

■対策本部の立ち上げ

- ○大規模な地震(概ね震度5以上)が発生したら、一時避難場所(1階玄関前広場)に集合し、各班と一緒に対策本部を立ち上げる。
- ○対策本部を立ち上げた旨を、館内放送と掲示板等で居住者に知らせる。
- ○「居住者名簿」「要援護者名簿」等を配備し、各班への活動指示を行う。

■班長代理の指名と班体制の再編成

- 〇班長が不在の場合は代理の班長を指名する。
- ○各班の人数に偏りがある場合は、人数が不足している班への配置換えを行う。その場合、「対策本部員 名簿」の更新をする。

■情報の集約と全体活動の指揮

- ○建物や設備の被害情報や各班の活動状況の報告を受け、安全措置や初期消火、救護活動の支援などを 指示する。
- 〇必要に応じて関係防災機関などへ救助・応援要請や被害報告を行う。

■安否確認

書

本部長/副本部長

- ○2人1組で安否確認を行い、その結果を「**安否情報シート**」に記入する。
- ○玄関ドアが壊れて開かない場合は、救護班に連絡し、救出救護を依頼する。
- ○「**安否ステッカー**」を貼られておらず、安否確認できなかった住戸には「**安否不明ステッカー**」を張り、帰宅した際の連絡を求めるとともに継続して安否の確認を行う。

■安否情報の伝達

○安否情報等を「**対策本部安否情報シート**」にまとめ、本部長/副本部長に報告する とともに、必要な情報を居住者に伝達する。

消火

救出救護班

■初期消火

○マンション内で火災が発生した場合は、初期消火を行う。

■安全確保

- ○建物や設備の被害状況を確認。
- ○受水槽等が破損している場合は、ポンプの再稼働で漏水を防ぐため、ポンプの電源を切っておく。
- ○危険個所は立入禁止等の処置を行い、「**使用・立入禁止シート**」で危険を明示する。

■エレベーターの閉じ込め確認

- ○各階のエレベーター扉を確認し、閉じ込めがなければ一時使用禁止の処置をとる。
- ○受水槽等が破損している場合は、ポンプの再稼働で漏水を防ぐため、ポンプの電源を切っておく。
- ○危険個所は立入禁止等の処置を行い、「使用・立入禁止シート」で危険を明示する。

■室内に閉じ込められた居住者の救助

- ○防災資機材を活用し、玄関ドア等を開けて救助する。
- 〇状況によっては、窓や隣戸のバルコニーから進入する方法も検討する。

■要援護者や負傷者の救護・救援

〇災害時要援護者や負傷者を救護場所へ誘導する。救護場所は、仕切り等によりプライバシーを確保する。(※誘導は階段を利用。 移動が困難な場合は担架等を使用して搬送する。)

避難誘

■避難所

○住戸内に留まることが困難な居住者がいる場合は避難場所へ誘導する。

給食給水

■備蓄物資・備品等の準備

○水道が停止した場合は給水所の確保、排水管が破損した場合は、災害用簡易トイレの配布準備。

震災時の防災活動-2日目以降

本部長/副本部に

情報班

■対策本部の体制の充実

- ○被害の規模を検討し、各班の体制と活動内容の確認・指示を行う。
- ○体制に応じ、「対策本部員名簿」を修正する。
- ○各班から提出された「対策本部安否情報シート」等の修正と整理を行う。

■安否確認の継続

○1日目に安否確認できなかった住戸の再調査を行い、居住者全員の安否・避難状況を確認する。 〇既に安否確認ができた住戸の修正も含めて「安否情報シート」を更新し、対策本部に報告する。

■正確な情報の収集

○ラジオや避難所の掲示板等で正確な情報収集を行い、対策本部に報告する。

■情報の提供

- 〇収集した情報を分類し、居住者にわかりやすく提供する。
 - □被害情報 ••• 地震の規模、震源地、建物内外の被害程度
 - □生活情報・・・水や食料の入手方法、ライフラインの復旧予定時期、トイレの使用、受水槽からの 給水、駐車場の使用等
- ※掲示板には、対策本部で合意した事項を記載しているため、個人での書き込みは禁止する。
- ※エレベーターが停止している間は、高層階の要援護者に直接お知らせする。

救出救護

■防犯・防火活動

○マンション内を見回り、結果を対策本部に報告する。

■救助・救護活動

- 〇救護スペースでの負傷者・要援護者等の救護活動と見回り訪問を行う。
- ○家具の転倒等で困っている居住者の手伝いを行う。

班

■指定避難所との連絡

○避難所運営者を通じ、地域の避難所との連絡交換を行う。

■備蓄物資の配給・管理

○飲料水や非常食等の備蓄物資を配給し、「**備蓄物資配布リスト**」に記入し、対策本部に報告する。

■炊き出し

〇備蓄物資が少ない場合は、各家庭に食材の持ち寄りを呼びかけ、炊き出しを行う。

給食給水班 ■ゴミ集積所の確保と管理

- ○災害時のゴミは、できるだけ各住戸で保管する。
- ○臨時ゴミ集積所の確保・管理を行い、エレベーターの復旧後は、各住戸のゴミを臨時ゴミ集積所に 運搬するよう呼び掛ける。

■支援物資の調達

〇避難所運営者を通じ、指定避難所に配給される支援物資を調達し、避難所に行けない要援護者等に 配給する。

4日目以降

〈 本部 〉○各班の活動体制の把握、縮小・廃止

〈 情報班 〉 ○情報収集・管理、居住者への情報提供継続。

〈救出救護班〉○建物設備の安全管理、防犯活動継続。

〈給食給水班〉 〇炊き出しや物資の分配継続。

○ゴミ集積所の管理継続。